

ひだまり

目次	
散歩道	1
さくら千手園	
親子日帰り旅行	2
活動紹介	2
木の宮学園	
運動グループ	3
参りました	3
気分は車掌	3
山桜	
佐倉市の新名所!?	4
地域生活支援センター	
レインボー	
レインボー企画「サッポロビール工場」	4
南部よもぎの園	
ユニバーサル農業・福祉さくら販売会	5
日帰りバス旅行	5
佐倉市さくらんぼ園	
就学を祝う会	6
遠足	6
さくら福寿苑	
「コールなぎさ」来苑	7
アニマルセラピー	7
事業計画・報告	8～23
新任職員紹介	24
情報フラッシュ	26



〈七夕まつり〉

散歩道

♪五色の短冊、私が書いた、お星さまきらきら♪七夕は「たなばた」又は「しちせき」とも読み一年の重要な五節句のひとつです。その昔は、豊作や健康を願っていたようです。笹竹に短冊をつるして願います。笹竹になつたのは江戸時代から。手習いをする人や寺小屋で学びが増えた事から、星に上達を願ったようです。本来、短冊はサトイモの葉に溜まった夜露を集めて墨を作り、その墨で文字を綴って書いていたとの事。サトイモの葉は、神から授かった天の水を受ける傘の役目として考えられていた為、その水で墨をすると文字も上達するといわれていたそうです。今は、便利なボールペンで、短冊に書き込みます。大人になるとあれこれ願い事が浮かぶ昨今、たくさん短冊の中に、時代が変わっても変わらない願い事を見つけてきました。「家族が健康で幸せでありますように」施設にいるお母様からご家族へのメッセージ。どんな時代でも一番の願い事は、普通に温かい。揺れる短冊を見ながら、想いが届きますようにと願うばかりです。



今年の行き先は東京方面。園を出発し、まずは昼食場所へ向かいました。高速道路を下りると、すぐ近くには東京タワーが。そう！今日の昼食は、東京タワーの目の前の結婚式場でおしゃれなコース料理です。キラキラした照明、目の前には東京タワー。そんな豪華な場所であつと緊張しながらも次々と運ばれる料理を皆さん堪能していま

指定障害者支援施設(生活介護・施設入所支援)

さくら千手園

親子日帰り旅行



した。その後は東京タワー観光。展望台に上った利用者の方からは、「良い景色だったよ！」との声。中には、「下を覗いてみたけど高くて怖かった。」との声も。東京タワーにはお土産屋さんも沢山あり、「何を買おう？」と悩みながらも、皆さんお買い物を楽しんでいました。帰りは都内の観光名所を、ガイドさんからの説明を受けながら園に到着しました。今年も多くの御家族の皆様にご参加頂き楽しい旅行となりました。ありがとうございました。(黒田)

活動紹介

アットホーム

アットホームでは、機能維持の為にハビリテーションや散歩を行い、余暇の充実の為に利用者皆さんそれぞれの好みに合わせた活動の提供も行っていきます。内容については、本の読み聞かせ、マッサージ、足湯等を楽しんで頂いています。また、職員も利用者の皆さんとコミュニケーションを深め、楽しい場所として活動に参加したくなる空間作りを目指しています。今後も居心地の良い場所にしてい



けるよう、職員一同、支援向上に努めていきますので、宜しくお願いします。(松戸)

ワークホーム



ワークホームでは、今女性に流行っているお香作りをしています。数あるお香の中で、練香と印香という置き型タイプを作っています。形だけでなく香りも線香とアロマオイルの組み合わせを考え、様々な香りが出るように試作を重ねてより良いお香作りを目指しています。皆さん「お祭りで買ってくるかな。」と嬉しそうに話しながら販売に向けて一生懸命に作っています。(安森)

指定生活介護事業所

木の宮学園

運動グループ

皆さん、こんにちは。運動グループです。今日は「運動グループってどんな活動しているのかな？」って疑問に思っている皆さんの為にちよつとだけ活動内容を教えちゃいますね♡運動と聞いてどんなことを想像するでしょうか？私たちが主に実施しているのはズバリ「散歩」です。散歩かよ〜と侮るなかれ。近隣の公園へ出掛けるなどして30分〜1時間半、四季折々の景色を眺めながらのんびりと歩いていきます。他の運動に比べて怪我が少ないという圧倒的な安全性に加え、酸素を多く取り入れることによって脳を活性化させ、『注意力』『思考力』『意欲』がアップする効



果があるのです。知っていますか？さらに散歩は有酸素運動なので体脂肪を燃焼する効果がある！こんな素晴らしい「散歩」を思う存分行っている運動グループは素晴らしいです！もちろん運動グループは散歩だけを行っていないわけではありませぬ。夏にはプールに出掛け、泳いだり、潜ったり各々の楽しみ方を見つけては気持ち良く身体を動かしています！今後の課題として、雨の日はドライブになってしまっている現状を何とか変えたい。室内でできる運動を考えていくのが目標です。これからの運動グループに期待してくださいね。

(千葉)

参りました

恒例のバーベキュー企画。今回は肉好き男女5名が集結し柏方面へ出発。某学園キャンパス内にあるレストランに到着。いつものアウトドア的な雰囲気とは違い、お洒落なレストランのバーベキューテラス。受付を済ませ外に出ると、テーブルの上には肉・シーフード・野菜・焼きそば・おにぎり：食べきれそうもない量の食材が用意されていた。直ちに戦闘開始。快調なペースで胃袋の中に消えていく。しかし、今回は季節外れの強い日差しが立ち上がった。水分が多く進み、仕上げの焼きそばに入った頃には、汗だく状態で戦意喪失。鉄板には焼きそばの山と、テーブルにはホットドック用のパンが：焼きそばパンを作ってみても誰も手を伸ばすこともなく完敗でした。

(山崎)



気分は車掌

入場券を購入すると、渡されたのはICカードに似たカード。入場口で四角いマークにカードを合わせると『ピッ！』『駅の改札口みたい！』と楽しそうな皆。入場口を通ると、到着した場所は鉄道博物館！車両ステーションには鉄道車両36両が実物展示されており、並んだ車両に皆が「わー！凄い！」と歓声をあげます。「これは寝台特急だよ！鉄道に詳しいIさんは、車両を見上げて嬉しそうな表情で車両の説明をしてくれます。運転席に座れる車両もあり、我先にと皆が乗り込むので、狭い車両内はぎゅうぎゅう詰め。それでも運転席に座り、ハンドルを握ると気分は車掌！自慢げにポーズを決めます。



鉄道を心行くまで堪能し、「楽しかった！」と博物館を後にしました。

(市瀬)

指定共同生活援助事業所

山桜

佐倉市の新名所!?

山桜は、平成19年6月に開所し、今年で10年目という節目の年を迎えました。そこで、今回は山桜の見所を1つご紹介したいと思います。山桜は佐倉市にあります。隣の印西市には、樹齢約300年を超える「吉高の大桜」がありますが、桜の種類は山桜となりませんが、ソメイヨシノの約1週間遅れで見頃を迎えます。毎年、多くの見物客で賑わう観光名所となっております。私たちがグループホームの前にも、とても大きく立派な山桜の木があります。今年も、4月の中旬に満開となり見頃を迎えました。「上の方は少し咲いて来たね。」「来週には満開になるね。」と、利用者の方が季節を感じる事ができる好立地にあります。満開の桜の花を楽しんだ後は、風が吹く度に花吹雪を楽しむ事ができ、一面が桜の花びらで埋めつくされるほどの景色を楽しむ事ができます。グル



ープホームの名称も、この山桜から命名されましたが、私たちにとってもシンボルであり、親しみのある木となっています。来年も、また見事な花が咲く事を楽しみにしています。佐倉市の隠れた新名所とまではいきませんが、来春には是非千手会の大桜を観にお越しください。
(金川)

指定相談支援事業所

地域生活支援センター レインボー

レインボー企画「サッポロビール工場」

6月18日、レインボー企画「サッポロビール工場見学」に行ってきました。

まずは腹ごしらえ。スーパービバホーム新習志野店の中にあるガストへ行きました。パスタやハンバーグ、デザートまで食べる方、皆様それぞれ好きなものをいただきました。

今回のビール工場見学は南極観測船「SHIRASE5002」&「黒ラベル」のコラボレーションツアーという所要時間2時間のツアーに参加しました。

長年にわたり南極観測、地球環境の観測に貢献してきた南極観測船・先代「しらせ」は地球環境・気候変動という未来に脈々とつながるテーマを実践的に共創していく、環境のシンボル「SHIRASE」へ



と新生し、2010年5月2日、船橋港にて一般公開をスタートしました。

その船内を見学。南極への長い旅となる船内での生活を元海上自衛官の方が楽しくお話ししてくださいました。40分ほど広い船内を歩き、お待ちかねのビール工場へ。今回は3名ほどビールが飲める方が参加していて、しつかり2杯のビールをとっても美味しそうに飲んでいました。缶ビールからグラスへの美味しい注ぎ方も教わって大満足。もちろんソフトドリンクやノンアルコールビールも試飲できるので、ビールが飲めない方も楽しめていました。千葉にあるビール工場、皆様も是非出かけてみてはいかがですか？
(佐藤い)

指定就労継続支援B型事業所

南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

ユニバーサル農業・福祉さくら販売会



6月3日イオンタウンユウカリが丘一階さくらの広場に販売目に行ってきました。今回で2回目の開催となります。前回も販売してきたOさんは「ここから出入りする」「こんなところ通らないよね。裏側だよ。」と従業員通路を教えながら笑顔で話し

てくれました。さくらの広場ではユニバーサル農業で作った野菜・米・きのこ類。手作りのお弁当・シフォンケーキ他が並ぶ中、各福祉事業所の品物や漬物や、手工芸品、アクセサリが並べられ、「10時いざスタート」。各店舗からいらっしやいませの声。めずらしい野菜やお弁当類の通路はとも賑わっていました。南部よもぎの園で一番人気の針刺しをお客さんが手に取り、どう作ったのか？この色でもう一つないかしら？など質問しながら買い求めてくれました。今後もイオンタウンユウカリが丘さくらの広場での販売を予定しているので、次回は今回より売り上げが伸びるように頑張っていきたいと思えます。

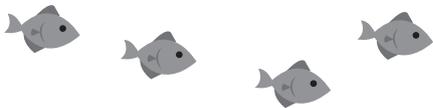
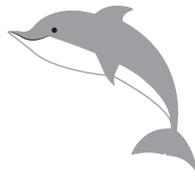
(山本奈)

日帰りバス旅行

くアクアパーク品川く

6月21日(水) 天気はあいにくの雨。しかしバスの中からハイテンションであつと言う間に到着。館内では色とりどりの魚たちが出迎えてくれました。水中のトンネルをくぐると大きなエイ・カメ・サメ等が頭の上を通り過ぎるたびに「ワーすごい。」の聲が上がり、皆、笑顔。イルカショーが始まる前にアナウンスで、「ここまで水しぶきがかかります。」と慌てて前に座っていたグループは席移動しました。ショーが始まると皆、大興奮。ジャンプし水しぶきが起こるたびに大歓声。ここはかからないだろうと思った席にまで水がかかり大慌て、ビニール袋で防御しましたが…。皆さんお待ちかねの昼食タイム。旅行前から何食べようかなどあれこれ考えていたので好きな物が食べられてさらにデ

ル



ザートまで。お腹いっぱいになり大満足です。お土産も好きな物を購入し、時間いっぱい楽しみました。

(大槻)

指定福祉型児童発達支援センター

佐倉市さくらんぼ園

指定管理者社会福祉法人千手会

就学を祝う会

昨年度最後の行事『就学を祝う会』の時期がやってきました。昨年度は21人の就学児を職員・在園児のみんなでお祝いしました。

第一部は職員による出し物。写真を見て何の劇かピンときた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。今回は『おおきなかぶ』です♪お馴染みのかぶを抜くシーンでは会場の子どもたちも「うんとこしょ、どっこいしょ」と大盛り上がりな姿がみられました。



第二部はメインイベントの『賞書授与』。担任が1人ずつ名前を呼び、保護者の方と賞書を受け取りに行く子どもたち。普段の無邪気な笑顔とは違う、凛とした表情や賞書を受け取る堂々とした姿に目頭に熱いものが…。毎年この瞬間に立ちあえる事に感謝の気持ちでいっぱいです。

4月から新生活がスタート。ドキドキしたりうきうきしたり、ちよっぴり目まぐるしい時期になると思います。その中でも子どもたちのペースで楽しい事や好きな事が見つかりますように…☆職員一同、いつまでも応援しています。
(安井)

遠足

5月19日さくらんぼ園では初の葛西臨海水族館に行ってきました。偶然にも、さくらんぼのイラストが描かれた大型バス2台に乗って出発!!5月にしてはとても日差しが強く、汗ばむくらいの陽気でしたが、水族館までの道のりを楽しげに歩き、いざ入館!館内が暗いこともあり、びっくりしてしまってお子さんもいましたが、サメやマグロの遊泳を見たり、潮の香りが漂う室外にいるペンギンが目に入ると、みんなとつてもいい表情でテンションMAX!!触れ合いコーナーでは、ドキドキしながら海の生き物に触れる子、ふわふわと浮くクラゲを眺めて癒される空間では、ひとやすみしている子がいました。

あつという間に水族館の間は過ぎ、お弁当広場に移動したら、おいしいお弁当。笑い声やおしゃべりでにぎやかでした。
昼食後は、追いかけてこをしたり、水辺の鳥や淡水生物

館をみたり、楽しみにしていたお土産を購入して過ごしました。
みなさんの満足な表情が見られ、とっても楽しく素敵なお土産をいただきました!!来年はどこかな? (松野)



地域密着型特別養護老人ホーム
 さくら福寿苑

コーラスボランティア
 「コールなぎさ」来苑



4月3日にコーラスボランティアの「コールなぎさ」が来苑しました。歌が大好きな福寿苑の皆さん。時間前にはユニット内、観客席に並びコールなぎさの登場を今か今かと待ちます。時間になり拍手の中コーラスが始まりました。ご利用者になじみの歌が次々と披露されます。一緒に口ずさむ方、手拍子をとる方、懐かしい歌に思わず涙ぐむ方。皆さん思い思い

にコーラスをたのしまれました。途中でお誕生月の方へ歌のプレゼントのサプライズがあったり、ボランティアの方にご利用者の方の間に入って一緒に歌う場面があったりと笑顔のあふれる時間になりました。最後は自然にアンコールの拍手が起こり盛り上がりうちに終了となりました。次回は1年後に来苑してくださいませ。観客が多いと盛り上がりませ。是非、来年福寿苑に素敵なコーラスを聴きにきてください。
 (佐藤)



アニマルセラピー

先日近隣の公園に動物がくるとの事にご利用者と訪れました。ポニー、ウサギ、ひよこ、山羊等を専門の方が調教して連れてこられています。

日本では、人が動物と触れ合い癒される事を総じて「アニマルセラピー」と呼ばれています。今日もウサギやひよこを膝に乗せ、触れ合う事で、皆さん気分転換されたようです。効果は目に見えてすぐに出るわけではありませんが、普段ご自分からあまりお話しされない方が「おとなしいね、



名前はあるの？」と発声されたり、昔ご自宅で飼っていたウサギの話をされたりとお話しの糸口をつかむ事ができました。又、参加していた地域の子供達と動物を通してお話されたり、子供達が「どうぞ」とウサギを膝に乗せてくれたりと、とても微笑ましい時間を過ごす事ができました。これからも、地域のひととの触れ合いや穏やかな空気を提供できればと感じた一日でした。
 (石川)



平成 28 年度 事 業 報 告

【さくら千手園】

事業は、概ね計画通り実施する事ができました。ただし、一部変更や問題点がありましたので併せて報告いたします。職員の労働環境については、嘱託の産業医を配置するとともに、衛生委員会を通じて労働安全衛生法への理解を深め、9 月には全職員に対しストレスチェックを実施しました。利用者の利用状況に関しては、3 月 31 日現在、施設入所支援契約利用者数が 55 名（定員 56 名）で、延べ利用日数は 19,799 日、平均稼働率は 96.9%でした。また、生活介護事業契約利用者数は 58 名（定員 56 名）で、延べ利用日数は 14,950 日、平均稼働率は 99.2%でした。

（支援活動）

- ※ 支援活動全般では、利用者の生活や人権を大切に、各職員が問題点を敏感にキャッチし、ブロック会議やケース会議を通じて解決に向けた話し合いを行い、即時に対応いたしました。個別の利用者支援に対応するため職員配置を 2:1 から 1.7:1 に変更しました。特に夜間の支援体制については、夜勤職員を 2 名から 3 名に 1 名増員し、夜間帯における緊急時の迅速化を図りました。
- ※ 健康管理では、細心の注意を払い健康維持・増進に関し、医師や理学療法士と連携を保ち、予防及び早期通院治療やリハビリテーションを行いました。各種健診についても、本人及び家族の同意のもと積極的に行い、病気の早期発見に努めました。入院治療を要した方は、2 名が敗血症、1 名が胆石、胆のう炎の疑い、1 名が白内障の手術、1 名が精神薬の調整、1 名が脳梗塞、1 名がてんかん発作の治療により入院されましたが、いずれも早期治療により回復しております。感染症に対しては、1 月にインフルエンザ A 型の感染が施設内で拡大し、利用者 27 名、職員 10 名が発症しました。このうち、肺炎を合併する方が 1 名おりましたが、皆さん回復しています。また、年度末をもって協力医が辞退されることとなりましたので、次年度より協力医を変更いたします。
- ※ 安全管理では、事故防止のために「事故・ニアミス報告書」を作成し、事故や危険な場面があった時には、毎朝の会議や職員会議で報告し、安全管理の徹底を図ってきました。しかし、1 名がてんかん発作による転倒にて頭部を裂傷し 4 針の縫合、1 名が居室内で筆筒の角で打撲したと思われる左足小指付近の裂傷により 3 針の縫合および骨折、1 名が外出中に他利用者との接触にて転倒し右口元を裂傷し 7 針縫合、1 名が食事の際に椅子とテーブルの間に挟んだと思われる左手親指第 1 関節付近の剥離骨折、1 名が自室内で転倒したと思われる右橈骨遠位端骨折、1 名が自ら躓き転倒したことによる左拇指骨折する怪我が見られております。この他、1 名が特定の方への他害行為のため環境設定や職員の配置を検討し対応していましたが、現在は他事業所への移動を視野にいれた短期入所事業を利用されています。
- ※ 給食では、楽しみながら喫食することに重点を置き、自由喫食や代替食の他、8 回の選択食と 1 度のバイキングを実施しており、利用者の方々には大変喜ばれています。今後も出来るだけ利用者の希望に沿った食事提供が出来るように努力していきます。
- ※ 行事では、7 月の親子日帰り旅行、10 月の千手会フェスタ、1 月の新年会など、やまびこ

会（利用者自治会）に協力をいただきながら実施いたしました。オプション行事の個別外出（日帰り又は 1 泊 2 日の旅行）についても利用者の希望に沿って実施しました。

- ※ 防火管理では、毎月の避難訓練の実施や防火管理者による職員教育を適時実施しました。9 月の総合防災訓練では、防災講話をはじめ、AED の使用方法や、消火訓練を終日行い、防災に対する意識の向上と迅速且つ的確に行動できるように防災教育を行いました。また、夜間避難訓練は、志津消防署や佐倉市消防団第 2 分団にも協力いただく中で、消防隊の指揮下により無線機を使用した訓練を実施しています。
- ※ 創作活動・個別プログラム・クラブ活動等では、個別的サービスや豊かな暮らし方について支援してきました。夏季の活動における熱中症対策としては、7 月より暑さ指数を活動実施の有無の判断基準として活用いたしました。今後も、活動内容及び支援内容について継続的に検討を行っていきます。
- ※ 苦情解決では、毎月第三者委員との相談日を設けて利用者の苦情解決の充実を図ってきました。受付内容については、利用者からの雑談が 108 件と多数を占めています。また、家族から 1 件の苦情が第三者委員に挙げられておりますので、解決に向けて取り組んでまいります。
- ※ 情報公開では、広報誌「ひだまり（7 月号）」にて事業報告及び決算報告等を掲載しました。

（在宅支援活動）

- ※ 短期入所事業については、空床型（専用居室 5 名+空床利用）で実施し、延べ利用日数は 1,647 日、平均稼働率は 90.25%でした。利用ニーズは高くなっているため、短期入所定員の増床に向けて継続的に検討を行っています。日中一時支援事業については、利用定員 2 名で実施し（佐倉市・四街道市・千葉市・習志野市）、延べ利用日数は 190 日でした。また、佐倉市障害児者一時介護事業については、延べ利用時間は 733.5 時間を行いました。

【木の宮学園】

- ① 障害者虐待防止法に続き、障害者差別解消法が施行されたことに伴い、福祉事業所向けガイドラインに従い、差別的取扱いの禁止・合理的配慮の不提供の禁止等の研修並び継続的な虐待防止研修と事業所内での意思決定支援のあり方を継続して再検証しながら、対応要領等を作成し、7 月の家族会にも具体的な事例等を提示しました。また、本年度よりサービス管理責任者資格所持者 2 名を虐待防止マネージャーとして設置し、その内 1 名を虐待防止マネージャー研修に派遣しました。相模原市の障害者支援施設での事件を受けての防犯対策への課題や継続的な虐待防止対策をはじめ、権利擁護全般に係る情報提供等について、サービス評価会議を通じて、現場に配信していきます。
- ② 障害者総合支援法施行 3 年後の見直しや次期報酬改定に向けての運営ビジョンについて検討してきました。財務省から示された今後の社会保障費抑制策を念頭に次期報酬改定時も基本報酬の減算や加算の廃止及び減算等が想定されているので、引き続き、人件費・事業費・事務費の収支バランスを検証していきます。また、経過措置である食事提供体制加算は次期報酬改定時には廃止されることも推測されますので、給食費の費用負担のあり方や定期健康診断等の費用負担のあり方等も家族会と一緒に協議を始めています。
- ③ 災害対策及び避難誘導マニュアルを再検証するとともに家族会とも協議しながらマンパワーの確保や自宅にて被災した場合の対策や特別警報に対する対応等についてマニュアルの改正に取り組みました。また、高齢者 GH での水害事故を受け、自然災害への対応の見直しを含め、

総合防災訓練時には佐倉市防犯防災課と社会福祉課より担当者を派遣していただき、福祉避難所の役割等について職員向けの意見交換会を開催しました。

【レインボー】

相談支援事業においては、本年度も継続して千葉県障害児等地域療育支援事業・佐倉市障害者相談支援事業・佐倉市精神障害者相談支援事業・佐倉市療育支援コーディネーター配置事業を受託すると共に障害者総合支援法の基幹相談支援センターとして展開しています。懸案となっていました千葉県療育支援コーディネーター配置モデル事業は県単事業から佐倉市の地域生活支援事業へシフトすることができました。事業所指定としては昨年度と同様、①一般相談支援【地域相談支援】（地域移行・地域定着支援を実施）②特定相談支援【計画相談支援】（サービス等利用計画や継続的なモニタリングの作成を実施）③障害児相談支援の3類型を展開しています。

- ① 親なき後の暮らしについては佐倉市総合支援協議会生活支援部会に地域生活支援拠点に関する作業部会が立ち上がりましたので、メンバーに参画し現在の地域資源の充足率や今後の地域生活支援拠点づくりのあり方の協議を開始しました。
- ② 千葉県において新たに立ち上がった「NICU 在宅移行支援看護師育成プログラム開発委員会」に当事業所の相談支援専門員（療育支援 Co）が参画し、小児医療機関や訪問看護事業所等と連携しながらマンパワーの育成に協力していきます。
- ③ 精神障害者の相談会機能の他にアウトリーチでの支援体制について法人内の事業所で自立訓練事業の展開も視野に入れ、法人内での協議を進めています。今後は、地域の相談支援体制をどのように発展させていくかを総合支援協議会等で協議し、実効性の高い取り組みに貢献していければと思います。又、継続的に佐倉市障害支援区分認定審査会をはじめ、障害支援区分認定調査を受託し、地域での区分認定業務に協力するとともに佐倉市障害者総合支援協議会の運営に積極的に取り組み、地域の様々な福祉資源との連携や新たな施策提言等に関わっていければと考えています。現行の運営委員会、啓発・権利擁護部会、療育・教育部会の事務局に加え、運営委員会委員長の招集による関係機関全員で構成する連絡会議の事務局を担っています。

【南部よもぎの園】

南部よもぎの園は佐倉市指定管理者 3 期目の 1 年目を終えました。今年度も今まで同様、就労支援・福祉的支援を実施しました。

就労支援については例年同様、外注作業を中心に行いました。年間売り上げについては昨年度よりも 50 万円程下回っています。外注作業が若干減ったことが大きな要因です。今後も景気によって仕事量が変わることが予測されるため、新規企業の開拓の必要があります。

洗車業務については安定して実施できています。さくら福寿苑の清掃業務と同様に事業所外で働く機会として今後も継続して実施していきます。工賃については年々上がっていますが、現在の状況に満足することなく、より工賃アップできるように努力していきます。

福祉的活動については、各種スポーツ・折り紙教室・音楽教室を実施しました。スポーツ活動はフライングディスク大会・地域のマラソン大会・手をつなぐスポーツのつどいに参加しました。折り紙教室では作成した作品を障害者作品展に出展しました。音楽教室では 1 年をかけて練習し、スマイルコンサートに出場しました。どの活動も利用者にとって非常に楽しみに

なっている為、今後もより充実させて実施していきます。

利用者の状況としては、年度末現在の契約者は 23 名。平均稼働率は 98.9%です。冬季において入所施設でインフルエンザが流行したことにより、稼働率が下がっています。作業収益・利用者稼働率共に安定していますが、利用者・保護者の高齢化が進んでいることを踏まえ、就労支援のみならず、生活全般について支援が必要になっています。今後の事業所としての役割をもう一度確認しながら、相談事業所と連携を取り、利用者に必要な支援を実施していきます。

その他の事業については概ね事業計画通り実施しました。

【佐倉市さくらんぼ園】

佐倉市さくらんぼ園は指定管理 2 期目の最終年が終了しました。地域の子どもの発達を支えるためのセンターとしての役割を果たすように努力してきました。

児童発達支援センターは今年度定員 20 名に対し契約者 72 名からスタートしました。年度末現在の契約者数は 105 名で、稼働率の年平均は 95.1%となりました。今年度は基本的に他市町村からの受け入れを行いませんでした。

放課後等デイサービスは未就学児からの療育を継続させることを目的として実施しました。年度末現在の契約者は 59 名で、平均稼働率は 40.7%です。今年度の高学年の活動はさくらんぼ園内保育室調理室にて調理実習を実施しました。プール活動は人気が高く、多い時は 1 日に 13 名の利用がありました。PT 活動については個々のニーズに合わせて実施しています。言語指導については対象を小学 1 年生までとしました。この他、活動以外に学校生活においての相談等が多数ありました。

保育所等訪問支援は年度末現在の契約者が 3 名。利用件数は 5 件です。今年度は定期的な利用が少なく、家庭連携のみを利用する方が多くありました。今後も地域でよりよく暮らせる支援を進めていきます。

障害児相談支援・特定相談支援については、最初の相談窓口としての機能を発揮しています。健康管理センターや行政と連携を図り、スムーズに療育に繋げることができています。契約者が増えている為、地域の他の相談事業所と連携するとともに、相談員の育成が課題です。

児童発達支援センターとしていろいろな機能を持ち、多様な事業を実施してきました。障害の有無や障害種別に係らず、地域の子どもの健やかに成長できるよう支援していきます。また事業所内の支援に留まらず、地域全体の療育の質の向上のために活動する必要があります。就学前の子どもの発達にとって、母子関係の構築は不可欠です。保護者と共に活動することによって、共に考え悩みながら療育を行い、子どもにとって今必要なことは何か、将来を見据えて必要なことは何かを考え、より充実した保育を実施できるよう増々努力します。

その他の事業についてはおおむね事業計画通り実施しました。

【山 桜】

平成 28 年度事業を概ね計画通りに実施することが出来ました。

3月31日現在、定員 5 名（障害支援区分 2 が 1 名、区分 3 が 1 名、区分 4 が 2 名、区分 6 が 1 名）が生活をしています。基本方針としては①利用者の自主的生活を保障する中で、地域生活での安定した生活の継続を図る。②生活の基盤となる地域の方々との交流を通して地域に

密着した生活を営む。以上を目指して支援しました。基本目標としては①個々の生活形態を確立し、より自立した地域生活を送れるようにする。②個人の自由な時間でも、共同生活を意識し、より互いに気付きあいの生活を心掛けていく。③社会のルールやマナーを守れるようにする。④健康管理、料理、衣類、金銭の管理など生活をしていく上で必要なことを取得していく。⑤節約（節電、節水、無駄遣い等）の必要性を理解する。以上を目指して支援しました。

※ 生活全般

利用者1人1人が自分に合ったライフスタイルを持つ事が出来るよう、個々の意見を尊重し出来る限り利用者から挙げられた要望が実現出来るよう取り組みました。利用者への支援上の問題が発生した際には、直ぐに利用者の問題として捉えるのではなく、利用者の状況や環境を考慮しながら、まずは職員側の支援方法や支援体制に問題がないかを精査しました。

※ 健康管理

常備薬のある方への支援を確実にを行い、体調不良のある方には早期通院・早期治療を行いました。定期通院については、バックアップ施設の看護師と生活支援員の協力を得ながら、確実に通院をすることが出来ました。バックアップ施設の予定に合わせ、対象者及び希望者について、定期健康診断（6月）、ビーバー号歯科検診（7月）、胃がん検診（8月）、大腸がん検診（9月）、胸部X線撮影（9月）、婦人科検診（9月）を実施しました。また、日々の健康状態の把握として、毎朝の検温・血圧測定（全員）・月に一度の体重測定を実施しました。

※ 食事

家庭的で楽しみながら喫食することに心掛けました。食事提供体制については、宅食サービスを継続して導入し、正確なカロリーコントロールがされた食事提供をすることが出来ました。麺メニューやパン食メニュー等も定期的に取り入れ、利用者の満足度が高められるよう配慮をしました。

※ 余暇支援

毎月第1日曜日に、「手をつなぐさくら」が主催している「わたしのたまり場」へ参加しており、利用者の毎月の楽しみになっていました。また、土日祝日では支援員と一緒に、近隣のスーパーへ買い物に出掛け、外食を楽しみたいとの要望のある利用者については、希望日に外食が出来る体制を整え実施しました。

※ 安全防火管理

消防法の改正により、平成30年3月31日までに自動火災報知設備の119番との連動及び、スプリンクラーの設置が義務付けとなりました。自動火災報知設備の連動については8月に整備を完了し、スプリンクラーの設置については、3月にパッケージ型のスプリンクラー（スプリネックスミニ）の設置を完了しております。消防への設置完了届も完了しており、改正消防法に基づく消防設備の設置は全て完了し、消防法上の特定防火対象物となりました。

※ 苦情解決

苦情解決では、日頃から各職員が利用者からの相談・要望等を聞いて問題解決に努めました。隔月（偶数月の第3日曜日）に第三者委員との相談日を設けており、更なる苦情解決の充実を図りました。前期においては利用者からの苦情はなく、第3者委員との雑談を楽しんでいました。また、第三者委員との連携を図る為に、来園された際にはサービス管理責任者との意見交換が出来るよう調整をしました。

【さくら福寿苑】

利用者の方の状況は、前年末3月に1名退所され、19名でのスタートになりました。4、5月と入所に至らず、6月に1名入所され20名になりました。入所予定の方が障害施設からの入所となった為、行政手続きに時間を要することが解り、今後の検討課題になりました。又、入院等が多く年間稼働率は93.8%と低めであり、経営的に課題を残しました。

年齢状況は、平均年齢83.5才、最高年齢98才最低が52才の女性若年性認知症の方で平均介護度は3.7、費用負担限度額については、28年8月に改正があり、負担割合が2段階から3段階、4段階に上がった方が多くなりました。

運営推進会議については年6回実施し、日々の状況を報告と地域の方のご意見をいただきました。又、メンバーの方に外部評価をしていただきました。

設備整備としては、インフルエンザ等の感染対策として大型加湿器2台を購入しました。他は、ご利用者の事故防止の為のセンサーマット等購入で、大きな備品の購入はございません。

職員の配置については、専門職等の人員配置は欠員なくできましたが、非常勤職員の定着が厳しく業務の安定と継続に問題が残りました。

給食に関しては以前の監査指導にて塩分の指導があり、今年度は11gから9、10gに変更しました。又、嗜好調査を実施し、ご利用者の声を献立に活かせるように努めました。

健康管理については、医療の必要度の高いご利用者が増加、急変となるケースが多くありました。

感染予防対策委員会等については看護師を中心に委員会にて研修を行い、予防策の徹底に努めました。結果、ノロウイルス、インフルエンザ等に感染するご利用者はおりませんでした。身体拘束委員会においては現況を確認、廃止に向けた検討を毎月1回実施いたしました。現在は車椅子安全ベルト、ベッド4点柵等の身体拘束を実施していますが、切迫性、非代替性、一時性の3つの要件を常に確認検討してきました。

事故防止委員会においては、日々の業務の中での気づきを大切に、ヒヤリハットとして共有する事で早めの対策を講じました。事故の大小に係らず報告し、分析を行いました。骨折や大きな怪我などに繋がった事故については4件（誤嚥2件、骨折2件）となっています。

苦情、要望については、特に第三者委員の方へご相談するに至る大きな問題はございませんでした。今後も日々ご要望があるご家族については、真摯に受け入れ、速やかな対応を心がけていきます。

地域交流として、ボランティアの活動を定期的に取り入れ、外出地域の方との触れ合う機会を設けることができました。

防災については、年3回の避難訓練と1回の夜間想定避難訓練を実施いたしました。近年、被害が多くなっている水害についても、マニュアルを整備し、想定訓練を実施することができました。又、10月より夜勤者2名の体制により宿直者の不在となり、緊急時の夜勤者2名での対応について検証し、当番制での緊急時対応の仕組みづくりを行い、実施いたしました。尚、空所型短期入所につきましては、利用実績は0件でした。

今後は多様化するケースに対し、更に専門性を高め、各部門での資質向上に努めてまいります。

財 産 目 録

平成29年 3月31日 現在

別紙 4
(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
I 資産の部						
1 流動資産						
現金預金						920
小口現金(さくら千手園)	手元現金		運転資金(さくら千手園)			15,012
小口現金(木の宮学園)	〃		運転資金(木の宮学園)			38,098
小口現金(南部よもぎの園)	〃		運転資金(南部よもぎの園)			17,488
小口現金(さくらんぼ園)	〃		運転資金(さくらんぼ園)			2,732
小口現金(さくら福寿苑)	〃		運転資金(さくら福寿苑)			52,770,445
普通預金(さくら千手園)	みずほ銀行ユーカリが丘支店		運転資金(さくら千手園)			2,003,737
普通預金(短期入所:さくら千手園)	〃		運転資金(短期入所:さくら千手園)			8,771,999
普通預金(日中一時:さくら千手園)	〃		運転資金(日中一時:さくら千手園)			5,168,412
普通預金(グループホーム山桜)	〃		運転資金(グループホーム山桜)			56,514,891
普通預金(木の宮学園)	〃		運転資金(木の宮学園)			2,150,976
普通預金(移動支援)	〃		運転資金(移動支援)			6,993,200
普通預金(日中一時:木の宮学園)	〃		運転資金(日中一時:木の宮学園)			1,210,697
普通預金(パーソナルサポート:木の宮学園)	〃		運転資金(パーソナルサポート:木の宮学園)			19,585,964
普通預金(相談支援レインボー)	〃		運転資金(相談支援レインボー)			1,153,434
普通預金(相談支援れいんぼー)	〃		運転資金(相談支援れいんぼー)			28,000,786
普通預金(南部よもぎの園)	〃		運転資金(南部よもぎの園)			984,076
普通預金(日中一時:南部よもぎの園)	〃		運転資金(日中一時:南部よもぎの園)			399,142
普通預金(パーソナルサポート:南部よもぎの園)	〃		運転資金(パーソナルサポート:南部よもぎの園)			25,497,029
普通預金(児童発達支援センター:さくらんぼ園)	〃		運転資金(児童発達支援センター:さくらんぼ園)			2,248,451
普通預金(放課後等デイサービス:さくらんぼ園)	〃		運転資金(放課後等デイサービス:さくらんぼ園)			75,351
普通預金(保育所等訪問支援:さくらんぼ園)	〃		運転資金(保育所等訪問支援:さくらんぼ園)			14,978,812
普通預金(さくら福寿苑)	〃		運転資金(さくら福寿苑)			2,253,571
普通預金(法人本部)	〃		運転資金(法人本部)			230,735,223
小計						55,406,374
事業未収金	さくら千手園	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	24,019,056
	木の宮学園	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	5,364,188
	相談支援	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	6,737,382
	南部よもぎの園	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	11,233,694
	さくらんぼ園	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	12,595,633
	さくら福寿苑	—	千葉県国民健康保険団体連合会 他	—	—	—
小計						115,356,327
未収補助金	さくら千手園	—	佐倉市	—	—	3,608,500
	木の宮学園	—	佐倉市	—	—	337,500
	さくらんぼ園	—	佐倉市	—	—	2,145,986
	南部よもぎの園	—	佐倉市	—	—	127,500
小計						6,219,486
貯蔵品	さくら千手園	—	図書券、商品券	—	—	96,000
前払費用	さくら福寿苑	—	保険料	—	—	242,472
流動資産合計						352,649,508
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	土地	—	(障害者支援施設(さくら千手園))	—	—	48,224,000
	土地	—	(障害者支援施設(さくら千手園))	—	—	4,580,000
	土地青番1049	—	(障害者支援施設(さくら千手園))	—	—	13,600,000
	土地	—	(地域密着型介護老人福祉施設)	—	—	46,272,500
建物	建物	1987年度	(障害者支援施設(さくら千手園))	631,270,908	353,918,931	277,351,977
	木の宮学園園舎	1992年度	(生活介護(木の宮学園))	211,047,000	123,728,023	87,318,977
	建物	2014年度	(地域密着型介護老人福祉施設)	256,049,455	17,859,448	238,190,007
小計						602,860,961
基本財産合計						715,537,461
(2) その他の固定資産						
建物	建物付属設備	1987年度	(障害者支援施設(さくら千手園))	73,080,242	48,564,261	24,515,981
	建物付属設備	1992年度	(生活介護(木の宮学園))	27,905,790	11,191,466	16,714,324
	建物付属設備	2012年度	(就労継続支援B型)	228,480	119,000	109,480
	建物付属設備	2014年度	(地域密着型介護老人福祉施設)	1,060,739	186,940	873,799
小計						42,373,599
構築物	中庭ゴミチップ舗装 他		さくら千手園	20,589,588	18,033,315	2,556,273
	本館裏土留上フェンス設置工事 他		木の宮学園	7,697,270	7,237,760	459,510
	間伐ブロック工事 他		さくら福寿苑	12,328,600	2,547,903	9,780,697
小計						12,796,480
車両運搬具	日産キャラバン 他8台		(障害者支援施設(さくら千手園))	13,647,307	13,368,674	27,283,633
	日産キャラバン 他6台		(生活介護(木の宮学園))	12,191,577	10,492,459	1,699,118
	ホンダハモス		(佐倉市委託相談支援(イパ-))	1,155,785	1,155,784	1
	日産キャラバン 他2台		(福祉型児童発達支援センター)	5,300,118	1,841,980	3,458,138
	日産キャラバン 他3台		(就労継続支援B型)	7,125,585	3,906,179	3,219,406
	リヤカー		(地域密着型介護老人福祉施設)	103,680	56,160	47,520
小計						8,702,816
器具及び備品	風呂循環器 他		さくら千手園	60,762,788	57,273,971	3,488,817
	厨房内食器洗浄機 他		木の宮学園	19,393,357	15,260,886	4,132,471
	事務所内エアコン 他		相談支援	824,220	200,375	623,845
	パーテーション 他		南部よもぎの園	2,046,989	1,292,331	754,658
	パソコン式 他		さくらんぼ園	593,250	593,246	4
	モーターベッド 他		さくら福寿苑	19,231,037	6,151,820	13,079,217
小計						22,079,012
建設仮勘定	さくら福寿苑		屋外遊歩道整備のため	830,000	0	830,000
有形リース資産	パソコン 他		さくら千手園	4,567,500	2,740,500	1,827,000
	パソコン 他		木の宮学園	3,269,700	1,961,820	1,307,880
小計						3,134,880
権利	電話加入権 他		さくら千手園	8,630,076	8,202,820	427,256
	電話加入権 他		木の宮学園	699,968	349,969	349,999
	水道加入負担金 他		さくら福寿苑	1,379,860	238,829	1,141,031
	電話加入権		本部	76,440	—	76,440
小計						1,994,475
退職給付引当資産	千葉県社会福祉事業共助会		さくら千手園(退職掛金)	—	—	17,603,485
	千葉県社会福祉事業共助会		木の宮学園(退職掛金)	—	—	11,614,440
	千葉県社会福祉事業共助会		相談支援(退職掛金)	—	—	2,619,410
	千葉県社会福祉事業共助会		南部よもぎの園(退職掛金)	—	—	2,184,480
	千葉県社会福祉事業共助会		さくらんぼ園(退職掛金)	—	—	1,936,250
	千葉県社会福祉事業共助会		さくら福寿苑(退職掛金)	—	—	2,873,820
小計						38,787,875
その他の積立資産	定期預金 みずほ銀行ユーカリが丘支店		人件費積立資産(さくら千手園・木の宮学園)	—	—	15,000,000
	定期預金 みずほ銀行ユーカリが丘支店		修繕費積立資産(さくら千手園・木の宮学園)	—	—	45,000,000
	定期預金 みずほ銀行ユーカリが丘支店		備品等購入積立資産(さくら千手園)	—	—	4,000,000
	普通預金 みずほ銀行ユーカリが丘支店		工費変動積立資産(南部よもぎの園)	—	—	220,000
小計						64,220,000
長期前払費用	リース付預託金 等		さくら千手園	—	—	85,390
	リース付預託金 等		木の宮学園	—	—	69,150
	リース付預託金 等		相談支援	—	—	8,510
	リース付預託金 等		南部よもぎの園	—	—	28,440
	リース付預託金 等		さくらんぼ園	—	—	28,400
	火災保険料 等		さくら福寿苑	—	—	303,090
小計						522,980
その他の固定資産合計						195,282,353
固定資産合計						910,819,814
資産合計						1,263,469,322
II 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	3月分業者支払い 他	—		—	—	23,613,737
1年以内返済予定設備資金借入金	福祉医療機構	—		—	—	2,608,000
1年以内返済予定リース債務	パソコンリース	—		—	—	1,561,440
職員預り金	源泉所得税	—		—	—	769,376
賞与引当金	賞与引当金	—		—	—	24,652,882
小計						53,213,435
2 固定負債						
設備資金借入金	福祉医療機構	—		—	—	38,712,000
リース債務	パソコンリース	—		—	—	1,436,820
退職給付引当金	退職掛金	—		—	—	38,787,875
固定負債合計						78,936,695
負債合計						132,148,130
差引純資産						1,131,321,192

法人単位資金収支計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第一号第一様式

(単位：円)

勘定科目		予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	89,250,000	89,443,429	193,429
		就労支援事業収入	10,150,000	9,832,538	-317,462
		障害福祉サービス等事業収入	602,683,000	603,055,547	372,547
		その他の事業収入	29,574,000	29,614,629	40,629
		その他の収入	136,000	136,567	567
		経常経費寄附金収入	1,015,000	1,015,800	800
		その他の収入	4,653,000	4,712,940	59,940
		事業活動収入計(1)	737,461,000	737,811,450	350,450
	支出	人件費支出	523,073,000	522,716,696	356,304
		事業費支出	90,861,000	90,237,214	623,786
		事務費支出	41,734,000	41,232,558	501,442
		就労支援事業支出	10,198,000	10,194,399	3,601
		支払利息支出	562,000	561,599	401
		その他の支出	3,761,000	3,755,250	5,750
事業活動支出計(2)		670,189,000	668,697,716	1,491,284	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		67,272,000	69,113,734	1,841,734	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	3,532,000	3,532,000	0
		固定資産売却収入	185,000	184,980	-20
		その他の施設整備等による収入	15,000	15,020	20
		施設整備等収入計(4)	3,732,000	3,732,000	0
	支出	設備資金借入金元金償還支出	2,680,000	2,680,000	0
		固定資産取得支出	18,166,000	18,164,520	1,480
		ファイナンス・リース債務の返済支出	1,568,000	1,567,440	560
		施設整備等支出計(5)	22,414,000	22,411,960	2,040
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		-18,682,000	-18,679,960	2,040	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	1,594,000	1,594,315	315
		その他の活動収入計(7)	1,594,000	1,594,315	315
	支出	積立資産支出	5,104,000	5,102,240	1,760
		その他の活動支出計(8)	5,104,000	5,102,240	1,760
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-3,510,000	-3,507,925	2,075
	予備費支出(10)		45,080,000	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	46,925,849	46,925,849	
前期末支払資金残高(12)		0	281,340,546	281,340,546	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	328,266,395	328,266,395	

法人単位事業活動計算書

(自) 平成28年 4月 1日 (至) 平成29年 3月31日

第二号第一様式
(単位：円)

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	89,443,429	87,712,440	1,730,989
		就労支援事業収益	9,832,538	10,406,465	-573,927
		障害福祉サービス等事業収益	603,055,547	578,691,704	24,363,843
		その他の事業収益	29,614,629	30,730,661	-1,116,032
		その他の収益	136,567	0	136,567
		経常経費寄附金収益	1,015,800	925,654	90,146
		サービス活動収益計(1)	733,098,510	708,466,924	24,631,586
	費用	人件費	528,851,195	529,184,619	-333,424
		事業費	90,471,446	94,048,248	-3,576,802
		事務費	41,240,798	39,413,620	1,827,178
		就労支援事業費用	10,194,399	10,534,944	-340,545
		減価償却費	42,703,935	42,144,680	559,255
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-23,195,729	-22,691,597	-504,132
サービス活動費用計(2)		690,266,044	692,634,514	-2,368,470	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		42,832,466	15,832,410	27,000,056	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	0	742	-742
		その他のサービス活動外収益	4,712,940	5,281,796	-568,856
		サービス活動外収益計(4)	4,712,940	5,282,538	-569,598
	費用	支払利息	561,599	585,996	-24,397
		その他のサービス活動外費用	3,755,250	3,921,250	-166,000
		サービス活動外費用計(5)	4,316,849	4,507,246	-190,397
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		396,091	775,292	-379,201	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		43,228,557	16,607,702	26,620,855	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	3,532,000	0	3,532,000
		固定資産受贈額	2,993,405	0	2,993,405
		固定資産売却益	184,979	34,779	150,200
		特別収益計(8)	6,710,384	34,779	6,675,605
	費用	固定資産売却損・処分損	1	5	-4
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,532,000	200,000	3,332,000
特別費用計(9)		3,532,001	200,005	3,331,996	
特別増減差額(10)=(8)-(9)		3,178,383	-165,226	3,343,609	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		46,406,940	16,442,476	29,964,464	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		538,064,325	511,740,894	26,323,431
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		584,471,265	528,183,370	56,287,895
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		0	10,100,955	-10,100,955
	その他の積立金積立額(16)		0	220,000	-220,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		584,471,265	538,064,325	46,406,940

法人単位貸借対照表

平成29年3月31日現在

第三号第一様式
(単位：円)

	資産の部			負債の部		
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減
流動資産						
現金預金	352,649,508	304,425,533	48,223,975	53,211,435	49,358,735	3,852,700
小口現金	230,735,223	185,523,102	45,212,121	23,613,737	23,066,871	546,866
普通預金	74,250	93,415	-19,165	1年以内返済予定設備資金借入金	2,680,000	-72,000
事業未収金	230,660,973	185,429,687	45,231,286	1年以内返済予定リース債務	1,567,440	0
事業未収金	115,356,327	115,790,828	-434,501	職員預り金	769,376	751,260
未収補助金	6,219,486	2,691,486	3,528,000	賞与引当金	24,652,882	2,626,574
貯蔵品	96,000	96,000	0	固定負債	78,936,695	-1,510,065
前払金	0	59,000	-59,000	設備資金借入金	38,712,000	-2,608,000
前払費用	242,472	265,117	-22,645	リース債務	1,436,820	-1,567,440
固定資産	910,819,814	929,957,943	-19,138,129	退職給付引当金	38,787,875	2,665,375
基本財産	715,537,461	734,222,020	-18,684,559	負債の部合計	132,148,130	2,342,635
土地	112,676,500	112,676,500	0			
建物	602,860,961	621,545,520	-18,684,559			
その他の固定資産	195,282,353	195,735,923	-453,570	純資産の部		
建物	42,213,584	38,692,239	3,521,345	基本金	87,139,776	87,139,776
構築物	12,796,480	14,256,493	-1,460,013	基本金	87,139,776	87,139,776
車輜運搬具	8,702,816	9,595,420	-892,604	国庫補助金等特別積立金	395,490,151	-19,663,729
器具及び備品	22,079,012	24,261,723	-2,182,711	国庫補助金等特別積立金	395,490,151	-19,663,729
建設仮勘定	830,000	830,000	0	その他の積立金	64,220,000	64,220,000
有形リース資産	3,134,880	4,702,320	-1,567,440	その他の積立金	64,220,000	64,220,000
権利	1,994,726	2,274,756	-280,030	次期繰越活動増減差額	538,064,325	46,406,940
退職給付引当資産	38,787,875	36,122,500	2,665,375	次期繰越活動増減差額	538,064,325	46,406,940
その他の積立資産	64,220,000	64,220,000	0	(うち当期活動増減差額)	46,406,940	29,964,464
長期前払費用	522,980	780,472	-257,492	純資産の部合計	1,131,321,192	26,743,211
資産の部合計	1,263,469,322	1,234,383,476	29,085,846	負債及び純資産の部合計	1,234,383,476	29,085,846

社会福祉法人千手会 役員(理事・監事) 名簿

役職名	氏名	就任年月日	満了年月日	役員の資格(該当に○)				担当業務
				知識経験者	地域福祉	管理者	その他	
理事長	恵下 均	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで	○				理事長
理事	稲阪 稔	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで			○		業務執行理事
理事	恵下幸子	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで		○			内部監査
理事	大野裕子	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで		○			財務
理事	山本和彦	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで			○		労務
理事	須藤真由美	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで			○		処遇
監事	富沢康人	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで	○				
監事	片寄照文	平成29年6月17日	平成30年度のうち最終のものに関する定例評議員会の終結の時まで	○				

社会福祉法人千手会 評議員 名簿

役職名	氏名	就任年月日	満了年月日	役員の資格(該当に○)			
				福祉知識 経営経験	地域福祉 関係	弁護士 経理関係	その他
評議員	保谷信子	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで		○		
評議員	伊藤澄子	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで	○			
評議員	大和久美保子	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで	○			
評議員	土居範行	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで			○	
評議員	浦 洋子	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで	○			
評議員	志津 功	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで			○	
評議員	佐川 章	平成29年4月1日	平成32年度のうち最終のものに関する定例評議員会(平成33年6月)の終結の時まで	○			

平成28年度 苦情受付件数集計

平成28年度の利用者やご家族からの苦情、要望・相談、雑談の件数を、苦情解決実績集計表としてまとめました。本年度も例年同様に要望や相談の他に「話しをしたい」という雑談が殆どですが、より具体的な苦情、要望や相談も数件ありました。また、同じ利用者から重複して同様の相談等を受け、年間延べ件数として掲載しています。第三者委員の方々には各事業所の活動プログラムへの参加、家族懇談会や各種行事等へ出席いただき、利用者をはじめご家族の皆様にも“顔の見える”活動を心がけていただいております。

なお、お世話になっている第三者委員は、土居範行委員・倉次和子委員・徳嵩陽子委員・小林真智子委員・足立和枝委員・浅野訓子委員・斉藤喜代美委員の7名です。

これからも、できる限り利用者やご家族の意見を反映し、施設や事業の運営を行っていきます。

苦情解決実績集計表 (H28.4.1~H29.3.31)

【件】

さくら福寿苑		さくら千手園		木の宮学園		山 桜		南部 よもぎの園		佐倉市 さくらんぼ園	
苦情	2	苦情	1	苦情	22	苦情	0	苦情	0	苦情	5
要望	0	要望	0	要望	23	要望	0	要望	0	要望	6
相談	0	相談	0	相談	4	相談	0	相談	11	相談	2
雑談	0	雑談	108	雑談	214	雑談	6	雑談	42	雑談	0
計	2	計	109	計	263	計	6	計	53	計	13

※但し、障害児通所支援事業所の佐倉市さくらんぼ園はご家族からの聞き取りによるものです。

平成 29 年度 事業 計 画

【さくら千手園】

本施設は 6 月で満 31 年を迎えます。この間、ノーマライゼーションの理念に基づき人間としての尊厳や人権を守り、個々の暮らしやライフステージを大切に、支援活動を続け、生きがいを実感できる環境づくりに努めてまいりました。また、在宅障害児・者の支援活動としての各種事業も行ってまいりました。これからも地域の障害児・者の方々がより一層利用しやすい障害福祉サービスづくりに努めていくと共に、事業所として地域貢献のあり方についても検討してまいります。

本年度特記すべき事項として、①生活訓練棟を改修・整備し、短期入所定員の増床を行います。②活動内容および日課の変更について、より利用者の状態にあわせて個別的な支援に取り組めるよう継続して検討していきます。③利用者および職員の健康診断については、協力医によるものから外部機関（日本健康倶楽部）に変更し、実施していきます。④強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）について、全職員が受講し専門性の向上に努めていきます。

利用者支援全般においては、本年度契約利用者数が、施設入所支援は 56 名、生活介護事業は 59 名といたします。①生活面では、利用者の相談や余暇の充実を図り、家庭的な雰囲気づくりに努めます。また、週 2 日の自由日課（週休 2 日）と週 5 日の入浴を実施します。生活においては、同性介護を徹底し、安心した生活が送れるように努めてまいります。②健康管理・安全管理では、細心の注意をはらい予防や早期治療を行います。特に感染症対策を確実にし、希望者にはインフルエンザの予防接種を実施いたします。また、事故・ニアミス報告書を活用し怪我や事故防止に努めます。③行事面では、10 月の千手会フェスタを法人の全体行事として行います。また、7 月の親子日帰り旅行や 1 月の新年会、毎月の一日出出を行います。更に、利用者の希望による旅行として、個別外出（日帰り～1泊2日・オプション行事として年 1 回）を実施します。④日中活動（グループ活動・個別プログラム・クラブ活動）は、個々のニーズにこたえられるよう、プログラム内容の充実を図っていきます。⑤広報では、広報紙「ひだまり」を情報公開紙として、「一歩一歩」は自治会紙として発行します。⑥権利擁護では、障害者差別解消法および障害者虐待防止法の趣旨に沿って、合理的配慮、意思決定支援等に関して、更なる職員の意識向上に努めます。併せて、第三者委員による苦情解決制度の充実を図ります。⑦総合防災訓練は、9 月に消防署や地域消防団との連携を基に夜間避難訓練を含め終日行います。

その他、事業は順調に実績を上げており、概ね昨年度事業（一部変更事項を除く）を踏襲して参ります。

【木の宮学園】 【レインボー】

本年度は第 6 期 5 カ年計画の初年度として以下の具体的な課題に取り組んでいく。

- ① 適切な利用者への支援を心掛けると共に地域生活の基盤である家庭生活への支援の更なる充実を図っていく。また、楽しみながら充実した日中活動を提供し、利用率の更なる向上を目指していく。
- ② 障害者虐待防止法及び障害者差別解消法の趣旨を理解し、法人としての対応要領等を遵守し、利用者等への合理的な配慮や意思決定支援の更なる充実を図っていく。
- ③ 障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドラインが示されましたので、意思決定支援の定義・構成する要素・基本的原則等を理解し、意思決定支援の枠組みを構築するとともに

にサービス等利用計画及び個別支援計画の内容に意思決定支援を反映させたものへの更新等を協議していく。

- ④ 法人並びに事業所組織のガバナンスを強化しつつ、短期入所の増床やグループホームの新規設置を含め、今後の事業展開を視野に入れた資金収支等の経営分析を継続していく。
- ⑤ 障害者総合支援法施行 3 年後の見直しの方向性を見極め、介護保険制度との融合等も含め、「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」を研究しながら、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部から配信された改革工程を意識しながら、第 6 期 5 ヶ年計画の作成を進めていく。
- ⑥ 地域生活支援拠点事業等の新たな施策への貢献を意識し、現行のサービス提供の充実を図り、親なき後の支援体制について、行政や関係機関も含めた協議を継続していく。
- ⑦ 個人情報保護規程や特定個人情報取扱規程等を遵守し、継続して管理を徹底しながら、内部研修等を通じて、より一層利用者等の個人情報管理体制の強化を図っていく。
- ⑧ 入所施設に設置している衛生推進会議の衛生管理者と当事業所の衛生推進者の連携を強化していくとともに衛生推進会議や健康管理委員会で検討された利用者及び職員の健康診断については本年度より日本健康倶楽部に委託し実施する。なお、費用負担の在り方については引き続き、家族会との協議も進めていく。
- ⑨ 災害対策基本法の改正による福祉避難所設置・運営マニュアルの改訂に従い、佐倉市との協定書及び事業所の災害時対応マニュアルを継続的に見直していく。また、風水害等に備えた警戒避難体制の確保につき、「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」に従い、現行の災害対策マニュアルの見直しを図っていく。
- ⑩ 本年度にて指定期間が終了する一般相談・特定相談・障害児相談支援の指定更新手続きを確実に進めるとともに千葉県療育等支援事業・佐倉市障害者相談支援事業・佐倉市精神障害者相談支援事業・佐倉市療育支援コーディネーター配置事業を受託し、各事業の更なる充実と地域での包括的な相談支援体制の構築を目指し、事業所としての地域貢献のあり方の検討・協議を継続する。
- ⑪ 契約期間終了に伴い、協力医療機関の変更届を提出するとともに運営規程並びに重要事項説明書等の改正を行う。なお、新たな協力医療機関は小林循環器クリニックと秀島歯科医院と契約を締結します。
- ⑫ 施設設備・整備については、各種助成制度の活用や消費税のアップの時期等を考慮し、優先順位を見極めながら、本年度中に相談支援用として重症心身障害児者の訪問や同行支援に対応するための福祉車両 1 台（軽自動車）の購入・タイムケア及び管理課事務用軽自動車 1 台の購入・各作業棟内照明 LED 交換工事等を検討していく。

【南部よもぎの園】

指定管理者第 3 期目の 1 年目が終了しました。今後も地域の障害を持つ方々のために、より一層努力し支援を行っていきます。

平成 27 年度より就労継続支援事業所が高等学校卒業後の進路先として選択できなくなったことで、新規利用者が入りにくくなりました。今後、多機能事業所に変更し、より地域に根ざした支援を行っていきたいと考えています。平成 30 年度を目指してどのような事業を増やしていくのか、検討し準備していきます。

今年度も福祉的活動と就労支援の二つの柱で活動します。

福祉的活動では音楽教室・折り紙教室の開催、フライングディスク大会・マラソン大会等の参加を目指し活動します。利用者が仕事だけでは得られない喜びを見いだせるよう支援し、展示会や発表会等に積極的に参加し、より充実を図っていきます。また、日帰りバス旅行や新年会等、

外出する機会を設け、日々の仕事の活力とします。

就労支援としては外注作業を中心に実施します。受注先との信頼関係によって安定した仕事を頂いていますが、企業の事情により仕事が増減しますので、今後のことを考えて、新規受注先の開拓を行います。また地域での販売に積極的に参加するため、手芸用品等の製作活動も昨年度同様に実施します。今年度は工賃を日給 850 円にし、平均月給 25,000 円を目標とします。事業所外の作業として同法人内の老人介護施設の清掃業務を行う他、洗車業務についても引き続き実施します。現在、南部よもぎの園とさくらんぼ園の公用車の洗車を定期的に行っていますが、同法人の他事業所の公用車の洗車業務も実施します。一般就労を念頭に置いた支援を続けていきます。

利用者・保護者とも高齢化が進み、生活面の支援が必要になってきました。法人全体の事業展開としてグループホーム建設やショートステイ増設等の整備の検討が必要です。

防火・安全管理については当事業所のみならず、南部保健センター全体で考え、複合施設の長所・短所を理解して実施します。地域の障害者にとって有事の際の助けとなるよう努力します。

地域のイベント等の参加やボランティアの受け入れ等、地域との繋がりを作る活動に継続して力を入れていきます。

事業は順調に実績を上げており、概ね昨年度事業を踏襲してまいります。

【佐倉市さくらんぼ園】

佐倉市さくらんぼ園は、今年度指定管理 3 期目をスタートします。これまで実施してきた実績を基に、地域の子供たちがより良く成長できる支援を継続していきたいと考えています。

「児童発達支援センター」「放課後等デイサービス」「保育所等訪問支援」「障害児相談支援」「特定相談支援」の各事業は順調に遂行しています。

「児童発達支援センター」は母子通園を基本とし、事業を行っていきます。乳幼児期の母子関係は子どもの成長にとって非常に重要なものです。障害の有無に関わらず子どもが子どもらしく成長していけるように、子どもだけでなく保護者に対しても支援を行います。年齢に応じた療育の他、子ども一人一人の成長に合わせて、集団および個別的な療育を検討し実施します。年々契約者数が増えてきている為、新しい支援の提供方法を検討する必要があります。

「放課後等デイサービス」は放課後または学校休業日に療育を行います。小学校低学年は水中療育、高学年以上は調理実習を行います。また専門職による療育も実施します。未就学児からの療育を継続することを目的に支援を行います。

「保育所等訪問支援」はすべての子どもが地域で暮らせるように支援を行うことを目的としています。市内外を問わず幼稚園や保育園と連携が取れるようになってきました。地域の小学校へ就学することを念頭に置き、よりよく地域で暮らせるように支援したいと考えています。

「相談支援」はアセスメントに重点を置き、子どもと保護者にとって何が必要なのかを見極め、個々の要望に合わせたより質の高い相談支援を行うように心がけます。職員の担当するケースが増加していますので、相談員の増員と育成について検討する必要があります。

保護者支援として研修会の開催を検討しています。実施時期は 10 月以降を予定しています。内容については今後検討をします。子育てを楽しむヒントになればと思います。

職員の資質向上のために数多くの研修に参加します。様々な研修に参加することで、専門知識を高めると同時に、人間性を高めていけるように努力します。

防火・安全・安全運転管理については、当事業所のみならず、南部保健センター全体で考え、複合施設の長所・短所を理解して実施します。

事業は順調に実績を上げており、概ね昨年度事業(一部変更事項を除く)を踏襲してまいります。

【山 桜】

※ 全般

個別支援計画に基づき、適切な支援を行うとともに、利用者全員がのびのびと自分らしく生活出来るように支援を行います。また、共同生活を営むうえで、グループホーム内の生活のルール（清掃分担・料理・配膳・後片付け・洗濯・入浴の順番・浴室掃除などの分担）などは利用者自身で決めていただき、共同生活を和やかに過ごせるよう支援いたします。

※ 健康管理

常備薬のある方への支援は確実にを行うとともに、投薬の重要性への理解を求め正しく服用するよう支援いたします。体調不良の方は早期通院、治療を行い、また慢性疾患のある方は定期通院を行います。定期健康診断（問診、採尿、採血）、歯科検診、胸部X線撮影の他、希望により胃ガン検診、乳がん検診、インフルエンザ予防接種については、バックアップ施設の協力を得ながら実施していきます。健康面の把握については本人の訴えの他、体調、喫食、運動等の状況から判断し、看護師、協力医師と相談していきます。また、日々の健康状態の把握として毎朝の検温・血圧測定、月に一度の体重測定を実施いたします。

※ 食事

家庭的で楽しみながら食事ができるよう支援いたします。今後の利用者の高齢化及び健康維持の為に、カロリー計算のされた食事提供が必要になる事から、継続して卓食サービスの食材を利用し、調理については世話人が行います。調理行程や盛り付けを世話人とともにを行い、生活に必要なスキルが身に付くよう支援していきます。

※ 身辺整理

各自の居室の清掃、衣類整理については自分自身で掃除や整理を行なう意識が持てるよう取り組み、不十分なところについては、本人の了承を得て世話人・生活支援員が行います。

金銭管理については各自小遣いを所持し、買い物等に行くことにより金銭感覚を養えるよう支援します。必要に応じて残高の確認、使い方の支援、小遣い帳の記入方法などの支援を行います。

入浴については、皮膚病の確認を含め適時生活支援員が状況の把握を行うように努めます。

※ 余暇支援

土・日・祝日を利用して職員とともに、利用者のニーズに応じて実施します。地域の社会資源を活用し、より自立した地域生活が送れるよう支援いたします。単独での外出が困難な場合は、職員の支援は勿論のこと、地域の障害者福祉サービス事業所との連携を図り、有効な福祉サービス（移動支援等）を活用していきます。

※ 安全・防火管理

日中活動への参加時や買い物など余暇の際、交通ルールをきちんと守り安全に移動が行えるよう支援いたします。日中については、世話人・生活支援員が不在の時間帯があるため、火の元や戸締り等の確認を徹底していきます。また、法人行事である総合防災訓練や月例訓練への参加、「山桜」独自の避難訓練を実施することで、消火器の取り扱い・災害時の避難場所や経路・連絡手段等の確認を行うとともに、防災意識の向上に努めていきます。

※ 苦情解決

苦情受付担当者を中心に日頃から相談・要望を聞き問題の解決に努めていきます。苦情については苦情解決責任者・第三者委員に報告をして、適切な対応を迅速に行えるよう努めていきます。

【さくら福寿苑】

さくら福寿苑は、開設して 3 年目を迎えます。

今年度の運営目標として以下のように計画致します。

第一に経営面を鑑み、利用者の稼働率の安定を図ります。

高齢者施設は体調不良により入院されることは否めませんが、入院時の状況把握と医療機関との連携に努め、早めの確認と判断を行い、空室をできる限り避けていきます。その為、待機者を常に意識し、定期的に状況把握を行い、必要に応じて空所型短期入所の活用も進めていきます。又、今年度より専門職の配置などによる加算も申請し収入面での安定も努力します。

第二に人材教育と職員の定着率の安定です。

ユニットケアの大切な目的の一つに「馴染みの関係を築き穏やかな普通の毎日の提供」があります。その為にも職員の定着はとて大切になります。そして職員がご利用者一人一人への細かな視点を持ち、自ら気づき、自ら考え行動できる人材を育てていきます。

第三にチームでの取り組みを大切にします。

現在の福寿苑では経験等様々な職員が勤務している事、施設が新しい事等職員の意識の統一が図れていない等の課題があります。施設は様々な職種や働き方での違いによる職員で構成されています。多種多様な職種への理解と尊重がなければチームケアはできません。リーダー層、専門職、現場の介護職員の役割の違い、経験による知識、技術の違いなどの相違点を認識し、様々な角度から業務を見直し、課題を抽出していきます。そして多種職への理解と協力の基、利用者サービス向上を目指します。

それに伴い今年度は、サービス・介護力向上委員会を設置し、内部研修などの充実や常により良いサービスを探究していきます。

第四に危機管理を追求します。

近年、急増している水害や震災をはじめ、弱者が被害にあうことが多くなっています。日頃からの備えや訓練、防災等の危機管理に対する意識を高め、職責として対応できるよう努めていきたいと思えます。

第五に地域交流を含め、地域での役割を再認識していきたいと思えます。

地域住民の方々の意見を聞き、交流を深めていくことは大切です。地域に出かけていき、施設を知っていただく事も担うべき役割だと思えます。現在行われている運営推進会議等をはじめ、様々な方々の違った視点から意見や助言を得ることで、自分たちでは気付かなかった施設の課題やサービス改善・向上に繋がります。そのような機会を大切にしていきたいと思えます。

第六にご利用者の個々のニーズの把握と個別対応に努めます。

画一的な介護ではなく、小規模ゆえに可能な個々への対応を丁寧に探り実施していきます。

私たち職員は、ご利用者の代弁者であるべきという基本姿勢を大切にし、日々の対応からニーズ発掘に努めていきます。又カンファレンス参加等を利用し、ご家族の意向も取り入れながら、ケアプランの充実を図ります。

今後多様化していく介護福祉に対して職員の資質の向上は不可欠です。一年間施設全体として常に自らを振り返り専門職としての自己研鑽に努めてまいります。

新任職員 紹介



南部よもぎの園
生活支援員
吉田 恵

夏には水泳学習で泳ぎ、秋には運動会の組体操・ダンス等してきていますので体力には自信があります。又、趣味でもあるバレーボールを週1、2程度やっています。そしてもう一つの趣味は掃除です。綺麗になっていく様子を見ると、清々しい気持ちになります。「これはいらぬ」と思い捨ててしまうとタンスの中には何も入っていない状態があったので捨てる時には確認をするようになりました。利用者の皆さんが快適に過ごせるように環境にも配慮していきたいと思えます。利用者の皆さんにも丁寧な支援が出来るように頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

以前は小学校の支援員を9年務めました。毎日昼休みには鬼ごっこや、ドッジボールをし、



さくら千手園
生活支援員
明石 展幸

張した毎日を送っています。目にする事が初めての事が多く戸惑いも多いのですが、不慣れな私を、暖かく御指導いただき先輩方に本当に感謝しています。一日も早く御利用者のお役に立てる様に頑張りたいと思います。趣味はDVD鑑賞です。大ヒット大作よりはB級寄りの映画が大好きです。将来の夢はいつか猫(できれば茶トラ)を自宅で飼いたいと思っています。しかし私以外の家族が動物アレルギーやら犬派なので夢を叶える目処は今のところたつていません。このような私ですが、今後とも御指導宜しくお願ひ致します。

今年4月から「さくら千手園」に入職しました。今まで慣れ親しんだ業界から思い切って飛び込んで、とても緊張



さくらんぼ園
保育士
松野真紀子

育てをしていけばいいのだろうと自問自答しているうちに、療育という分野の職にたどり着きました。タイプの違う障がい児をもつ親御さんも、健常児の子育てでも、親の育児に対する想いは変わらぬいけれど、もつと育児が楽しい!と感じられるような子育てのヒントを、一緒に見つけたり、自分の経験を活かしながら、もつともつと勉強し、少しでも育児が楽しくなった!と思っていたのですが、おっちゃんおっちゃんと思ってしまう!!少々おっちゃんおっちゃんと思ってしまう!!少々おっちゃんおっちゃんと思ってしまう!!少々おっちゃんおっちゃんと思ってしまう!!

広汎性発達障がい児の子育てをかれこれ22年。親子共々、毎日笑顔で過ごせるようになるには、どんな子



木の宮学園
生活支援員
渡邊 正大

科の1年課程を卒業しました。木の宮学園との出会いは今年2月から現場実習で実習生としてお世話になりました。実習中、利用者の方々と関わり、明るい表情を浮かべてくれる姿を見て、毎日皆さんの元気をもらっています。職員の方々も明るく前向きで仕事を楽しもうという気持ちと利用者の方々の支援するという意識の高さに心動かされました。今、生活支援員としての一歩を踏み出したところで緊張の毎日を過ごしていますが楽しく勤務できるように頑張りたいです。

4月から木の宮学園の生活支援員として勤務しております。今春、東京福祉専門学校、社会福祉士一般養成



佐倉市さくらんぼ園
保育士
井口あすか

わる仕事の中でも支援関係の仕事に就きたいと思ひ、調べていくうちに、さくらんぼ園のことを知りました。4月から念願の仕事に就くことができ、子ども達と充実した毎日を送っています。保護者の方々にも少しでも早く覚えていただき信頼していただけるよう努力していきたいです。社会人一年目で未熟な事ばかりですが、さくらんぼ園の先輩方が優しく指導して下さいるので色々な事を沢山吸収し覚え一杯頑張っていきたいと思ひます。さくらんぼ園をはじめとする千手会の皆さまご指導よろしくお願ひ致します。

初めまして。私は昔から子どもに関わる仕事に就きたいと考えていました。大学の講義を通して子どもに関



佐倉市さくらんぼ園 保育士 今関 紬

4月から新社会人として働き始め、不安なことも多いですが先輩方から毎日たくさんのお話を聞かせていただき、元気が湧いてきました。子どもたちの笑顔に元気が湧いて、子どもたちや、先生方から多くのことを吸収し、信頼される保育士になれるように『笑顔で元気をモットー』に頑張っていきたいです。また、趣味は映画を見ることです。休みの日は映画館に行ったり話題の映画を見たり、好きな映画を借りて見たりしてリフレッシュしています。不慣れなことが多くご迷惑をかけてしまうこともあるかと思いますが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひ致します。



さくら福寿苑 調理員 渡部 ゆうき

昨年12月よりお世話になっております。調理員としての勤務は12年振り、包丁も皮剥きもピラーも厨房で扱う際は恐る恐るの日々でしたが大分慣れてきました(汗)これまでの業務経験としてはパソコンに向かっている事が多かったので、改めて料理の魅力を発見すると共に、施設調理という点で責任も感じます。是非今後ともご指導頂けますようお願い致します。発酵食品や物事のルーツを探る事、身土不二という考えに基づいてその土地々に伝わる特産と加工の仕方を知る事が大好きです。良い情報がありましたら是非シェアして下さい！



佐倉市さくらんぼ園 保育士 石田 博美

4月からさくらんぼ園で働かせていただいております。一度、離れたこの仕事ですが、「やっぱり、子ども達と関わる仕事がしたい」と思い、戻ってまいりました。プランクもあり、1日の流れ、子ども達の動きについていくのに精一杯でまだまだ気持ちに余裕のない私ですが、元氣なさくらんぼ園の職員と一緒に頑張っていきたいと思ひます。職員達からいろいろなことを学び、吸収し、子ども達との関わりの中で成長の手助けができればと思ひます。至らない面もあるかと思ひますが、よろしくお願ひ致します。



さくら福寿苑 調理員 吉野 邦子

昨年の5月から厨房で働いている吉野です。きっかけは私の親友がこちらに勤めていて、声をかけてもらいました。私は仕事に自信がなく不安でしたが、来てみたら事務所の方から皆さんに優しくしてもらってビックリしました。歳を取っているので物覚えが悪いのですが何とか頑張っています。いくつになっても働いていけたら良いなと思ひています。これからもよろしくお願ひします。最後に私の趣味はケーキ作りです。得意なデザートはティラミスとカボチャのタルトとピールゼリーです。



さくら福寿苑 職員 北 祥吾

右も左もわからない状態で介護の世界に足を踏み入れ早5年目。老人保健施設で働いており、グループや訪問入浴も少し経験する機会がありました。それらとはまた違った特別養護老人ホームのリズムに慣れようと努力の日々です。大学では日本民俗学、年中行事や民間伝承について勉強していたので、ご利用者の方々の思ひ出話なども交えながら実際に経験してきたものについてゆつくりとお話を聞かせて頂けることが働く上での大きな楽しみの一つです。まだまだ若輩者ですので、皆さんと過ごしながら多くの事を学んでいきたいと思ひています。



さくら福寿苑 調理員 吉野 佑二

毎日の食事を作らせていただくにあたって日々覚えることは沢山あります。が、周囲に助けられながら楽しく働いています。さて、そんな私の趣味はというと、釣りやサイクリングです。以前姉ヶ崎でギンポ(銀宝)という魚を初めて釣ったのですが、余所見をしている間にカラスにさらっていかれてしまいました。いつか東京湾までサイクリングして、釣った魚をその場で調理してみたいと思ひています。ご利用者に安全で美味しい料理を毎日提供できるように日々努力していきますので、ご指導の程よろしくお願ひ申し上げます。

